

モデル 8-13GMX 9-13GMX エンジン GB400

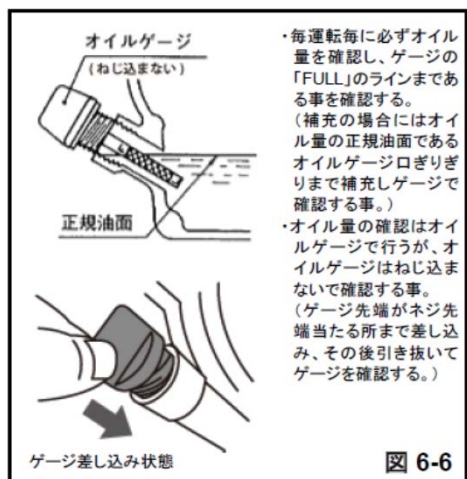


図 6-6

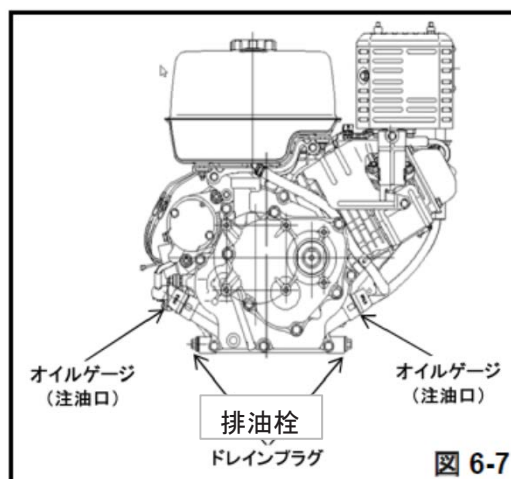


図 6-7

エンジンオイルの取扱い

1. エンジンオイルの点検

●エンジンのオイル量はエンジンの始動前にオイルゲージを反時計方向に回して外し、一度ウエスで拭いた後にゲージを差し込み、再度抜いて油量がゲージの「FULL」の位置にある事を確認してください。

※注意:ゲージをねじ込まないで点検してください。

●エンジンオイルの点検は毎運転毎に実施し、不足の場合には補充を行うようにしてください。

●エンジンオイルの補充は、本機を水平に置いて行い、オイルゲージを差し込んで油量がオイルゲージの「FULL」のライン迄入れてください。

2. エンジンオイルの交換

エンジンオイルの汚れは作業効率低下を招くばかりでは無く、エンジンの寿命を著しく低下させます。

購入後、25 時間を経過したら第一回目のオイル交換を実施してください。

その後50～ 100 時間毎を目安に交換してください。また、除雪シーズンが終了した時にも必ず新しいオイルに交換してください。

【交換手順】

1. オイルゲージを外す。
2. ドレインプラグを外してオイルを抜く。(ドレインプラグは左右どちらからでもOK)
3. ドレインプラグをスパナで固く締め付ける。
4. 新しいオイル(容量1L)をオイルゲージ口から注入する。
5. オイルゲージを差し込み、オイル量が「FULL」に達している事を確認する。
(この時、オイルゲージをねじ込まない事。達していなければ追加する)
6. オイル量を確認後、オイルゲージを時計方向に確実にねじ込む。
7. オイルゲージ(注油口)、ドレインプラグ、の締め付け状態を再確認する。

※オイルゲージがきちんとねじ込まれていなかったり、オイルゲージ内側のOリングが外れていると、マフラから白煙を吹いたり、エンジン不調の原因になるので注意する。

●推奨オイル

エンジンオイルはスノースロワーの機能を十分に発揮させるため、必ず下記のオイルをご利用ください。

●API サービス等級:SE 以上のクラス

●厳寒期に適したオイル オイルの粘度番号SAE5W-20、5W-30、10W-30 のいずれでも結構ですが、低温時でも粘度がやわらかなオイルとして5W-20、もしくは5W-30 をおすすめします。

初期交換時期	2回目以降	オイル種類	オイル規格	容量
25時間後	50～100時間 又はシーズン前	エンジンオイル SEクラス以上	5W-30又は 10W-30	1.0L